

報告第18号

市民アンケートの結果について

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会による市民アンケートの結果について、別紙のとおり報告する。

平成29年5月30日提出

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する
任意協議会 会長 加藤 憲一

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関するアンケート結果の概要

実施目的	2市協議会における各協議事項（合併、大都市制度、広域連携）及び行政改革に対する市民の基本認識を把握し、今後の広報資料の作成等にあって、両市民の意見やニーズを把握することを目的として実施
調査方法	平成29年4月1日時点で両市に住民登録がある18歳以上の市民の方から、地区別、年齢階層別に抽出した3,600人（内訳 小田原市：2,374人、南足柄市：1,226人）に郵送により配布・回収
調査期間	平成29年4月17日～5月1日
回答状況	1,177人（有効回答者数 小田原市737人 南足柄市418人 居住地域未回答22人） 32.69%（回収率）

主な調査結果

問1 回答者の基本情報

性別	男性：47.07%	女性：51.06%	性別未回答：1.87%
年齢	18～29歳：6.63%	30～39歳：9.43%	40～49歳：14.02%
	50～59歳：16.31%	60～69歳：23.70%	70～79歳：19.46%
	80歳以上：8.07%	年齢未回答：2.38%	
居住地域	小田原市：62.62%	南足柄市：35.51%	居住地域未回答：1.87%
居住年数	5年未満：7.14%	5年以上10年未満：6.71%	
	10年以上20年未満：12.15%	20年以上30年未満：14.87%	
	30年以上：56.67%	居住年数未回答：2.46%	

問2 小田原市と南足柄市（以下、「両市」という。）が平成28年10月に「小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会（以下、「任意協議会」という。）を設置し、協議していることを知っていましたか。

- 1 協議していることを知っていた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64.06%①
- 2 何を協議しているかまでは知らなかった・・・・・・・・・・・・・・・・ 14.44%③
- 3 協議していることをこのアンケートで初めて知った・・・・・・・・ 20.48%②
- ※ 未回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1.02%

問3 人口減少と少子高齢化が一層進む中で、両市では、行政改革に取り組んでもなお、現状の行政サービスを維持していくことは難しいと見込んでいますが、両市の行政運営についてどのように感じていますか。

- 1 両市ともに、今後もこれまでどおりの行政運営が可能であり、行政サービスの維持や拡充が可能である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12.87%③
- 2 小田原市は行政サービスの低下が避けられない・・・・・・・・・・・・ 7.40%
- 3 南足柄市は行政サービスの低下が避けられない・・・・・・・・・・・・ 11.94%
- 4 両市ともに行政サービスの低下が避けられない・・・・・・・・・・・・ 39.28%①

5	わからない	25.32%②
6	その他	1.93%
※	未回答	1.26%

問4 合併をした場合には、人件費などのコストの削減に取り組めますが、それでもなお、市民に対するサービス水準の見直しが必要な場合、こういった取り組みが有効だと考えますか。

1	機能が重複する公共施設を統合や廃止する	35.86%①
2	効果の低い事業を休止や廃止する	33.55%②
3	使用料・手数料等を値上げする	5.55%
4	新規事業を休止する	6.96%
5	補助金・給付金等を減額や廃止する	5.13%
6	わからない	7.28%③
7	その他	4.24%
※	未回答	1.73%

問5 中核市になった場合には、市は多くの事務を県に代わって実施することになり、市民にきめ細かなサービスを提供できるようになります。市が今よりも幅広い事務を担うことをどの様に思いますか。

1	市の財政的な負担が増えないのであれば、市民に身近な市の事務は幅広いほうがよい	46.45%①
2	市の財政的な負担が増えたとしても、市民に身近な市の事務は幅広いほうがよい	12.69%③
3	市が今以上に多くの事務を担う必要はない	9.73%
4	わからない	7.78%
5	その他	2.12%
※	未回答	21.24%②

問6 県西地域では各市町が安定的に行政サービスを提供できるよう、様々な分野で広域連携が進み、両市はその中心的な役割を担ってきました。人口減少等によって基礎自治体の行財政運営が厳しさを増していく中、今後、両市は周辺の町との広域連携にどの様に取り組むべきだと思いますか。

1	市の財政的な負担が増えるとしても、県西地域全体の行政サービスの安定的な提供に積極的な役割を果たすべき	17.46%③
2	市の財政的な負担が増えないのであれば、県西地域全体の行政サービスの安定的な提供に積極的な役割を果たすべき	44.66%①
3	県西地域内の連携は必要最小限にし、各市町がそれぞれ行政サービスの安定的な提供に責任を持って取り組むべき	23.14%②
4	わからない	9.66%

5	その他	2.20%
※	未回答	2.88%

問7 任意協議会では、両市が仮に合併した場合の行政サービス水準などについて検討・協議を行っています。協議の終了後には、合併のメリット・デメリットなどをまとめた客観的な資料をもとに、それぞれの市が市民の皆様には十分な説明をした上で、合併についての意向を伺う予定です。その際に、合併について考える上で重要視する点は何ですか。

1	合併後の市の行政サービス水準	31.74% ①
2	合併後の市の名称	8.04%
3	合併による財政的な影響	28.40% ②
4	合併後の市のまちづくりの方針	16.61% ③
5	中核市への移行についての方針	4.74%
6	広域連携のあり方についての方針	6.86%
7	特になし	2.08%
8	その他	1.04%
※	未回答	0.50%

問8 将来の2市のあり方や任意協議会などに関するご意見、ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。(回答者：527人 延べ795件)

1. 合併に関する意見 192件
- 合併に肯定的な意見：63件
 - ・2市それぞれの歴史や特徴を大切にしながら合併することを望んでいる
 - ・合併に大賛成。良くなる事に期待している
 - 合併に否定的な意見：43件
 - ・先々に不安な合併には反対
 - ・今のままで良い
 - 合併に対する不安について：46件
 - ・合併する事により、地域が広くなりすぎて、目の届かないところが出てくるのではないかと不安
 - ・合併によるメリットは大いに期待しているが、デメリットについての説明と対策をきちんと誰もが納得できるよう、行って欲しい
 - 新市の名称等について：30件
 - ・合併後の市の名称は新しく考えた名称にしてほしい
 - ・合併により、ひらがなの市名やキラキラネームのような、今風の変な市名になることは反対
 - 合併方式について：10件
 - ・合併せずに広域連携を進める
 - ・2市だけでの合併も良いが、周りの5町とは、合併する気はないのか

2. 経費削減方法に関する意見 56 件

○職員数等について：19 件

- ・人件費等のコスト削減は現時点でも必要不可欠なことだと思う
- ・両市が合併し、それぞれが行っている業務を統合することにより、無理、無駄をなくし、必要な人員を整理、統合すべき

○議員数等について：12 件

- ・市議会議員の数は減らさないで、一人あたりの報酬を下げるのが良い
- ・議会経費の削減、特に定数の削減

○公共施設について：4 件

- ・支所等が多すぎるように思う。

○行財政改革について：21 件

- ・費用対効果を重視し、財政破綻することがないようにして欲しい
- ・民間でできることは民間に任せる

3. 協議会の取組の周知に関する意見 70 件

○合併等のメリット・デメリットの提示について：22 件

- ・合併のメリット・デメリットがまとめられた資料はわかりやすいもので説明して欲しい
- ・メリット・デメリットを客観的に開示して、市民の意見を反映させて議論を進めて欲しい

○発信内容全般について：21 件

- ・合併することに反対はしないが、行政サービスの向上や幅広い事務の現実的な具体例の説明が欲しい
- ・行政改革の内容とそのコスト削減の内訳を明確にした上で合併の議論をすべき

○合併による効果や合併後の課題、また合併しない場合の予測について：10 件

- ・合併した場合の行政サービス等がまだあまり具体的にわからないのでどうなるのか不安もある。
- ・両市の合併に伴う利点や課題を十分に検討、協議し、市民に説明して欲しい

○検討内容や経過の情報発信について：9 件

- ・どうして小田原市と南足柄市が合併しなくてはならないのか説明が不十分
- ・情報の展開がない。このアンケートで初めて知った

○情報の発信方法について：8 件

- ・市の情報がみなインターネットで調べる用になっているのでスマートフォンなどを持ってないと見ることが出来ず、困る
- ・市民の幸福度を第一に考え、情報提供を積極的に行って欲しい

4. 2市での協議に関する意見 67 件

○合併協議について：16 件

- ・合併・中核市・広域連携を検討する前に市単独で同様の効果を出す方法がないのかを考え

る必要がある

○広報活動について：7件

・今まで、合併に関することにどれだけの税金が使われているか知りたい

○広聴活動について：11件

・あまり時間をかけず意見はあくまでも、首長の意思決定の材料に過ぎないという意識で進めて欲しい

○検討内容・方法について：18件

・行政と議会が責任を持って将来の方向を決めるべきだと思う

○大都市制度の活用の推進：5件

・合併する事により施行時特例市から中核市になり指定都市に近づける様心より期待

○その他：10件

5. まちづくりに関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 398件

○小田原駅周辺のまちづくりについて：2件

○公共施設について：25件

○企業誘致・産業について：35件

○子育てについて：42件

○教育について：9件

○生活環境について：51件

○自然環境について：9件

○行財政改革について：29件

○医療・福祉について：42件

○観光について：21件

○歴史・文化について：6件

○災害対策について：6件

○安心・安全について：9件

○中心部と周辺部のまちづくりについて：2件

○税金・公共料金について：26件

○その他：84件

6. 特になし・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14件